

会議名	第9回新城地域協議会		公開
日時	平成29年2月16日(木) 午後7時00分～午後8時30分	場所	勤労青少年ホーム 集会室
出席者	(委員) 長坂富雄、松下愛三、柿原典子、鈴木喜代治、坂巻邦彦、加藤賢一、 加藤節子、藤田 廣、石野敏弘、牧野直美、野末史朗、山本 敏、 村田孝司、森 正彦、坂口知子、鈴木健二、上田寿彦、村田博和、 大倉幸二、小竹山朋也		
	(事務局) 三浦理事、西村課長、田村所長、黒田主任、林副参事		
欠席者	(委員) 内藤尚武、石黒 謙治、竹内浅男	傍聴者	0名
配布資料	次第、分科会まとめ、平成29年度新城地域自治区地域活動交付金募集要項、地域活動交付金事前相談チラシ		

### 議題・議事・発言等 (要点記録)

<p><b>1 開会</b> 本日の会議成立の報告及び会議録署名委員の指名 (大倉幸二委員・小竹山朋也委員)</p> <p><b>2 報告及び意見交換</b> ○第8回地域協議会決定事項について(報告) 事務局より、平成29年度新城地域自治区地域活動交付金募集要項、地域活動交付金事前相談チラシの内容について報告した。 ・募集対象：16歳以上の者が3名以上参加する団体。 (ただし、1名は20歳以上かつ新城地域自治区内に在住、在勤の者) ・募集期間：平成29年4月3日(月)～平成29年5月12日(金) ・交付金の補助率：補助対象経費に対して100% ・交付金の限度額：50万円 ・事前相談のチラシは3月に各戸配布し、4月に再度回覧する (相談は3月より随時受け付ける。) ○意見交換 ・各委員一人ずつ意見を伺った。</p> <p><b>3 連絡事項</b> ・新年度委員について、報告書の提出を依頼した。報告書が揃い次第新委員の勉強会について調整をする。 ・防災資機材について、一部地区を除きそろったことを報告した。 ・地域活動交付金チラシについて、3月各戸配布、4月回覧する。</p> <p>&lt;主な意見&gt; 会長：本日は特に協議事項はございません。最後の会になりますので、1年の感想を含めて意見をお願いします。 委員：地域活動交付金の流れが地域に広まってきているので、じっくり申請書を見て審査に取り組みたいと思う。</p>
--

- 委員：大事なお金を地域に使うことがとても難しいと思いました。これからはいろいろな角度で見たいと思います。
- 委員：公民館の整備はどうかと思っていましたが、地域住民が憩える場所づくりであることが分かった。
- 委員：活動交付金、自治区予算についてのPR方法がよくなってきていると感じました。
- 委員：交付金については来年度より10万円未満はプレゼンテーションが省略できるということで、申請しやすくなるのではないかと思います。自治区予算において防災備品がかなり整備されたので、これからは火災予防等の対策も考えるとよいと思いました。高齢者日常生活支援の事業はみんなで協力できるとよいと思いました。
- 委員：協議会委員の役割が当初わかりづらかった。会議開催時間は昼間でもよいと思いました。
- 会長：これについては来年度以降検討が必要になりますね。
- 委員：単年度の考えでなく、中・長期で計画を考えていくことになるということなのでよいと思いました。若者議会の若い世代との話し合いもできてとても有意義であった。
- 委員：協議会へ参加する前は、交付金の申請団体であったが、そのころより協議会委員も、活動交付金団体も意識が向上している。地域活性のために何が必要であるか考えることにより、地域のための自治区予算になっていると思う。もっと意識が高まっていけば地域自治も発展していくと思いました。
- 委員：地域の課題を集める方法について、地域住民ともっと話をして情報を集めたいと思いました。
- 委員：県営住宅においては、県との絡みもあるので、交付金や自治区予算についてこうすれば活用できるという指導も今後していただけるとありがたいと思いました。
- 委員：自治区予算において、物を整備することが多かったが、だんだんソフトを充実させる展開になってきた。若い世代もみんなで考える、事業についてもまずはやってみるということで盛り上がっていくとよいと思う。行政に提言していけるような協議会になってもよいと思いました。
- 会長：平成29年度より地域計画を考える流れになっているので大事にしていきたいと思う。事務局に任せるのではなく、みんなで取り組んでいくことが必要であると思います。

事務局：次期役員を報告していただいているところですが、新委員及び第1回の協議会開催の調整を文書でお願いします。こちらから郵送しますので提出してください。

所長：来年度は交付金においては金額によるプレゼンテーションの省略により新たに挑戦しようという声もあり活動が活発することを期待しています。市民自治とはよく「自ら考え自ら行動する」と言われていますが、本当に新城自治区の将来に向けて期待が持てると思っています。地域計画においては、平成25年度に「しんしろ城下町の会」が「新城中部地域計画」を策定しておりその計画とあわせて、1から作るのではなく集大成としての計画策定になると思います。引き続き協議会に残られる方は、協議いただきたいと思ひますし、委員が終わられる方も新城自治区のために「いつまでも元気に住み続けられ、世代のリレーができるまち」を目的にご協力願ひたいと思ひております。

私も2年間大変お世話になりましたが、2年を持って自治振興事務所長という役を退任させていただくことになりました。皆さんからご意見をいただき、一緒になってこのまちをよくしていこうという中に加わらせていただいたことをうれしく思っています。来年度からはこれで終わりといわず自治活動にかか

わっていきたいと思いますので、ご指導ご協力ありがとうございました。

会長：これで協議会を閉じたいと思います。1年間ありがとうございました。

#### 4 閉会